

今村央子公開講座

アナリーゼを演奏に生かそう！

～「ソナタアルバム1」New Edition（音楽之友社）を使って～

〈講座内容〉

- ・ 音楽を演劇に置きかえてみる
- ・ まずは曲の構成を大きく捉えるところから
- ・ 様々な対比がポイント！
- ・ 調関係を活きた音楽の中で確認する
- ・ モティーフはどのように展開されている？
- ・ この曲のユニークなところはここだ！



今村央子
(いまむら ひさこ)

東京芸術大学附属高校、同大学作曲科卒業、同大学院ソルフェージュ科修了。伊藤国際教育交流財団の奨学金を得て渡仏。パリ国立高等音楽院和声科、対位法科、フーガ及び形式科を審査員全員一致の一等賞、ピアノ伴奏科を二等賞（一等賞なし）で卒業。帰国後は、自作初演を交えたピアノ・リサイタル、レクチャー・コンサート、伴奏、新作初演、雑誌連載等、作曲家＝ピアニストとして独自の活動を展開。

主要作品に、尺八・三味線・チェンバロのための「LIMITCYCLE」、プリペアード・ピアノのための「Promenade」、「IN」～7人の奏者のための～等。作曲を尾高惇忠、故内田勝人、ピアノを勝谷壽子、D. メルレ、エクリチュールを故池内友次郎、野平多美、J. C. レイノー、J. C. アンリ、T. エスケッシュ、伴奏法を故アンリエット・ピュイグ＝ロジェ、ジャン・ケルネル、アナリーゼを永富正之、M. ビッチュ、指揮をJ.S. ベローの各氏に師事。1998年～2000年、2001～2004年東京芸術大学非常勤講師。現在国立音楽大学准教授。日本ソルフェージュ研究協議会理事。

生徒さんが「ソナタアルバム1」に進むころには、「様式感」や「構成感」を踏まえた表現力を磨く時期に入ってきます。

アナリーゼは、偉大な作曲家が曲にこめた考えを知り、表現や解釈の根拠を明確にするための第一歩です。全体の見通しから細部を吟味すると同時に、細部から全体を練っていく、という双方向の視点から、一音一音の意味をとらえ、演奏表現につなげましょう。

●日 時

●教 材

標準版「ソナタアルバム1」New Edition（音楽之友社）

※当日、会場で販売いたします

●会 場

●お問い合わせ・お申込み先

●受講料（税込）

●使用機材

ピアノ、ホワイトボード

----- キリトリ線 -----

今村央子 公開講座

年 月 日 ()

アナリーゼを演奏
に生かそう！

申込書

行 FAX.

申込日 月 日

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種 別	会 員 ・ 一 般		